



# 自立活動目標設定シート（自立活動フローシート改訂版）

<b>学部・学年</b>	2年	<b>氏名</b>	Aさん
--------------	----	-----------	-----

**障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等について**  
 情報をまとめて、学習や生活の状況・様子を記載する

地域の小学校の特別支援学級を卒業し、本校中学部へ入学した。  
 落ち着いているが、予定の変更に混乱しやすい。2語文程度の言葉のやりとりができる。視覚的な指示が伝わりやすい。  
 注意を引く行動や質問等が多い。何度も教師に視線を送り、確認行動がある。

自立活動の区分に即して整理する

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
食事、排せつは自立している。 衣服の調整については言葉かけが必要になる。	作業学習や帰りの支度等では、5つ程度の手順やスケジュールを示しておくことができている。 イライラしたときや不安な時に、おでこを床や机にぶつける、腕や足を血がでるまでかきむしるなどすることがある。	友達や先生の名前を覚えようとしたり、挨拶をしたり、話しかけたりする。 衣服は丸めてかごに入れることがあり、「端を揃えて置みます」などの言葉かけを聞いて置くことができる。	6までの足し算は具体物を用いて行うことができる。 30ピースのパズルなどの見本構成の課題が得意である。	歩行の時や食事の時に円背になることが多い。 靴ひもを結んだり、はさみを使って丁寧に切ったりすることができるが、確認が必要になる。	話すときに早口になることがあり、「ゆっくり話してください」と言ったり、デンプを手にたいたりするとゆっくり話すことができる。 質問に対して単語で答えることができる。

○年後の姿の観点から整理する（生活年齢や卒業までの年数を考慮し、どのような力を育むとよいかを記載する）

- ・ 集団を意識して行動したり、友達に伝わるように話したりすることができることよい。
- ・ 予定の変更等があってもイライラせず気持ちや不安のコントロールができるとよい

**実態把握をもとに、課題を抽出し、中心的な課題を導き出す**

- ・ イライラする気持ちや不安のコントロールすることが必要である。
- ・ 声の大きさと速さに留意して相手に伝えることが必要である。
- ・ やるべきことを理解し取り組むことが必要である。

課題に基づき設定した指導目標（ねらい）を記す

<b>指導目標（年間）</b>	気持ちや不安のコントロールができる。 相手に伝わる声の大きさと速さで話す。 日常生活に必要な交通ルールやお金、漢字の学習に取り組む。
-----------------	--

指導目標を達成するために必要な項目を選定する

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<b>選定した項目</b>	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能	①コミュニケーションの基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性についての理解と対応	②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善			⑤認知した行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

コピーして利用

選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定する

<b>具体的な指導内容</b>	自分の役割を覚え、担当の作業に取り組む。	言葉を聞いて身体を動かしたり簡単なルールのある活動に取り組んだりする。	スケジュールを見て行動し、活動の区切りで連絡、報告、相談をする。 相手に伝えるための声の大きさや速さに気を付けて話す。
-----------------	----------------------	-------------------------------------	--

<b>指導場面（教科等・単元名等）</b>	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	日生		朝、帰りのしたく	自活	身体を伸ばして、動かそう。	自活
作業		販売会に向けて	グループ学習	手旗信号ゲームをしよう。	生単	家庭生活

	前 期	後 期
<b>自立活動目標</b>	肘を伸ばしたまま腕の上げ下げや回旋をする。 相手に伝わる声の大きさと速さで話す。 朝の会の司会など、自分の役割を理解し取り組む。	

各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

		教科等の前期合計時数 2年生	
		教科別時数	合わせた指導 時数
		Aさん	
国語	内容	経験を基に書く内容をまとめ、声の大きさや速さに気をつけて話す。 自分の考えと理由を文章にする。	
	指導形態	日生 生単 作業	
	単元(略称)	朝帰 季 販	
社会	内容	仕事の種類や工程、携わる人を知る。 伝統的な生活様式を調べ現在の違いを発表する。 選挙の仕組みと流れを知る。 自分の役割を考えて行動する。 自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする。	
	指導形態	日生 生単 作業	
	単元(略称)	朝帰 職 選 販	
数学	内容	計器を用いて決められた分量を測る。 食材のエネルギー量をシールで表す。 活動の開始時間を時計で表す。 データを見て、数を比較する。 三角形や四角形を描いたり切ったりして作る。	
	指導形態	日生 生単 作業	
	単元(略称)	朝帰 食 選 販	
美術	内容	表したいことに合わせて材料や用具を選んで表現する。 材料による形や色の違いに気付き、発表する。	
	指導形態	生単 作業	
	単元(略称)	季 販	
職業・家庭	内容	作業工程の分担や役割に気付く。 生活リズムや余暇の過ごし方を知る。 買い物で自ら金銭のやりとりを行う。 地域の人とのやりとりや生活の工夫をする。	
	指導形態	日生 生単 作業	
	単元(略称)	朝帰 職 選 食 販	
自立活動	内容	自分の役割を覚え、担当の作業に取り組む。 言葉を聞いて身体を動かしたり簡単なルールのある活動に取り組んだりする。 スケジュールを見て行動し、活動の区切りで連絡、報告、相談をする。 相手に伝えるための声の大きさや速さに気を付けて話す。	
	指導形態	日生 生単 作業	
	単元(略称)	朝帰 職 食 販	
		71	
		51	20
		57	
		34	23
		69	
		51	18
		42	
		34	8
		68	
		34	34
		32	
		17	15

各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

指導形態	時期(月)	単元	単元略称	Aさん	
				内容	教科等
日常生活の指導	前期	朝帰りのしたく	朝帰	(国) 日記 (数) 時間、スケジュール (社) 活動の役割確認 (職) 活動計画 (自) 適切なやり取り、感情コントロール	国 教 社 職 自
生活単元学習	前期	季節の飾り	季	(国) 挨拶や聞く話すことによる季節の行事の振り返り (美術) 身近な用具を使用した装飾	国 美
	5から7月	選挙のしくみ	選	(社) 選挙の仕組みと流れ (数) 表の見方と開票数の比較 (職) 地域のやり取り、生活の工夫	社 教 職
	5から9月	様々な職業	職	(社) 様々な職種と社会のしくみ (職) 職業生活と家庭生活、余暇活動 (自) 自分の役割、余暇活動、感情のコントロール	社 職 自
	7から9月	食事の大切さと調理	食	(数) 物の単位と軽量 (職) 食事の役割と楽しみ、簡単な調理 (自) 身体の健康維持	数 職 自
作業学習	前期	販売会に向けて	販	(国) 活動の記録、受け答え (数) 数の計算、具体物の数量、位置、形 (社) 工程、販売の流れの理解 (美) 材料や用具の工夫 (職) 作業への達成感、集団での役割 (自) 人との関わり、活動の変化への対応	国 教 社 美 職 自

単元 時数	生活	国語	社会	算数 数学	理科	音楽	図工 美術	体育	職業 家庭	外国語	道徳	特活	自活
17		4	3	4					3				3
8		4					4						
10			4	3					3				
12			4						6				2
7				3					2				2
64		12	12	8			4		20				8
118	0	20	23	18	0	0	8	0	34	0	0	0	15

前期  
合計

個別の指導計画【前期】

2年

氏名

Aさん

<p>〔年間目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割を意識して活動に取り組むことができる</li> <li>・自分の気持ちを言葉で伝えることができる</li> </ul>
--

	目標	内容	評価
国語	小学校3年生程度の身近な漢字を身に付けその日の出来事作文にしたり、発表メモを作成したりするとともに、声の大きさに留意しながら言葉で伝え合う。	経験を基に書く内容をまとめ、声の大きさや速さに気をつけて話す。自分の考えと理由を文章にする。	毎日、日記を書いた。「いつ」「どこで」等に項目だてると文章を書くことができた。「楽しかった」「がんばった」の他に、どう思ったかを書くことが増えた。周囲に聞こえるように声量を大きくして号令をかけることができた。
社会	どのような仕事があるか知り、知ったことを発表するとともに、自分が担当する作業に取り組む。	仕事の種類や工程、携わる人を知る。伝統的な生活様式を調べ現在の違いを発表する。選挙の仕組みと流れを知る。自分の役割を考えて行動する。自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする。	インターネットを使い、キーボードを打ち込む担当として、興味のある職業を調べた。人と関わる「公務員」や「ホテル支配人」を調べ、ふせんに書き出した。ふせんに書いた職業を読み上げて友達に発表することができた。
数学	10までの数や簡単な図形を理解し、図や表に表すとともに、具体的操作を意欲的に行う。	計器を用いて決められた分量を測る。食材のエネルギー量をシールで表す。活動の開始時間を時計で表す。データを見て、数を比較する。三角形や四角形を描いたり切ったりして作る。	教室にある正方形や長方形のものを探すことができた。探した正方形や長方形のものを紙の上に置いて、なぞって描いた。なぞり終えると「次」と言って、自分から新しい紙を取りに行っていた。
理科	月の形が変わることや電気を通すものと通さないものがあること等を知り、分かったことを発表するとともに、意欲的に観察や実験に取り組む。	月は日により形が変わって見えることや植物の成長に必要な環境を知る。電気を通すもの、通さないものの違いがわかる。	電気テスターを使い、教室の中の身近なものが電気を通すか否かを実験し、ワークシートに結果をまとめた。「机は電気を通さない」「はさみは電気を通す」等をクラスメイトの前で発表することができた。月の観察では、光と影で月の形は変わることを知り、形は変わるが月は一つということを発表することができた。
音楽	楽器の使い方を知り、表現し、自分から友達と息を合わせて歌ったり演奏したりする。	伴奏に合わせて歌い、体を動かす。合奏では、簡単な楽譜を見てリズムや速さを意識して演奏する。	音階を文字で書いた楽譜を使い、自分から鍵盤ハーモニカの音を鳴らして練習する姿がみられた。友達とリズムを合わせて自分から演奏することができた。
美術	用具や材料の使い方を知り、色や形を工夫し自分で作りたいデザインを考えて、作品を仕上げる。	表したいことに合わせて材料や用具を選んで表現する。材料による形や色の違いに気付き、発表する。	「風の作製」では、竹ひごは剪定ばさみ、紙ははさみ等、切る材料に合わせて用具を選ぶことができた。「走ることを頑張りたいから」と言い、描く配置や色を自分で決め、走っている人を描いて一人で仕上げることができた。

保健体育	友達とペアで活動するルールを守り、自分の役割を理解して、最後まで取り組む。 病気の予防の大切さを知り、そのための方法を考え、自分から着替えや手洗い等を行う。	決まりを守り、場や用具の安全に留意して運動に取り組む。 身体測定の結果から体の発育に関心をもつ。 病気やけがの防止、病気の予防の仕方を知り、発表する。	何度か練習することで、ルールを覚えて自分の順番を守って仲間と協力して活動に取り組むことができた。 映像やスライドを使い、病気の予防の大切さを学習した。「病気になっちゃう」と言い、自分から手を洗う、水分をとる、着替えを行うことができるようになってきた。
職業・家庭	作業工程に分担があることに気づき、取り組んだことを伝えたり、休憩のとり方を工夫したりしようとする。	作業工程の分担や役割に気付く。 生活リズムや余暇の過ごし方を知る。 買い物で自ら金銭のやりとりを行う。 地域のひととのやりとりや生活の工夫をする。	食事では、糖分を摂りすぎると病気になるということを知り、献立を考える際に自分からお茶を選び、ジュースではなくお茶が良いということを発表することができた。
外国語	外国語と日本語の違いに気づき、相手の働きかけに応じたり、自分からコミュニケーションを図ろうとしたりする。	外国語の歌や日常生活になじみのある語を聞き、音声やリズムに親しむ。 外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活の違いを知る。	「Hello」や「Hi」等、ALTの挨拶に対して同じ言葉で返した。簡単な挨拶や受け答えは、英語で言葉をかけられると英語で返そうと自分から発音を真似て積極的に関わる姿がみられた。
道徳	自分から挨拶をサインや発声でし、関わる。	サインや発声など、自分のできる方法で参加する。 自分から挨拶をサインや発声でする。 やりとりを通して人との関わり方を知る。	「楽しい」「悲しい」「怒った」等、言葉に合わせて、表情に表すことができた。表情が陰しいときに、教師が「どうしましたか」と言葉をかけると、態度で伝えるのでなく「嫌だ」と言葉で言え自分の気持ちを伝えるようになった。
総合的な学習の時間	地域で有名な場所や名産を調べ、発表方法を選んで、発表する。	地域の有名な場所や名産を調べ、発表する。 自分の得意なことをシートにまとめて発表する。	インターネットを使い、教師と一緒に江戸時代の衣食住を調べ、「今」と比較した。「かるた」について知り、自分から手をあげて、「昔もあった」と発表することができた。
特別活動	自分の担当や役割に気づき、気付いたことを表現しながら、友達と協力して最後まで取り組む。	委員会活動では毎月の保健目標を校内に知らせる。 交流及び共同学習では、交流校の友達と協力して活動に参加する。	電気担当として、友達が登校したら電気を点ける、教室に誰もいなくなったら電気を消すという役割がわかり、教室の様子から判断して行うことができた。
自立活動	肘を伸ばしたまま腕の上げ下げや回旋をする。 相手に伝わる声の大きさと速さで話す。 朝の会の司会など、自分の役割を理解し取り組む。	自分の役割を覚え、担当の作業に取り組む。 言葉を聞いて身体を動かしたり簡単なルールのある活動に取り組んだりする。 スケジュールを見て行動し、活動の区切りで連絡、報告、相談をする。 相手に伝えるための声の大きさや速さに気を付けて話す。	教室の入り口の扉の上には手形を貼ることで、入出時に手形に合わせて腕を伸ばす習慣がついた。教師が「背中を伸ばして」と言葉をかけると肩を上げていたが、背中を伸ばすことができるようになった。 最初は教師の手拍子に合わせて司会や発表を行っていたが、自分で手をたたきながらテンポを意識して話すことができた。